

第28回全国スポーツ少年団剣道交流大会の報告とお礼

第28回全国スポーツ少年団剣道交流大会は、3月26日から28日にかけて宮城県利府町で行われました。利府町は、あのトリノオリンピックフィギアスケート金メダリストの荒川静香さんが中学校時代をすごしたところで、凱旋パレードも行われていました。

大会には、47都道府県より各県代表の小学生団体48チーム、中学生個人男子48名、女子48名が参加して行われました。土佐町スポーツ少年団は、小学生団体と中学生女子個人に出場しました。

1日目は開会式が行なわれ、ブラスバンドの演奏で北海道から順に県団旗とプラカードを持って入場行進をしました。私は、今回が4年連続5回目の出場でしたが、開会式は何度出場しても感動の思いでした。交流会では、ゲームやプレゼントの交歓を行い、他県のチームとも親しくなることができました。

2日目は予選リーグが行われ、小学生団体は滋賀県と地元宮城県のリーグでした。両県とも入賞の常連県で苦しい戦いが予想されました。まず滋賀県とは接戦となり、1:1でしたがポイント差で惜しくも敗れてしまいました。3位に入賞した地元宮城県には、個々には互角の試合内容でしたが、結局4:0で敗れ、悲願の決勝トーナメント進出はなりません。また、女子個人には土佐町中学校の池添美里選手が出場し、東京の近江選手には快勝したものの、3位になった京都の下井選手に1本負けを喫し、昨年に続く女子個人の入賞はなりません。

残念ながら、団体、個人ともに予選リーグ敗退という結果ではありましたが、この人口4千6百人の土佐町の子供たちが、高知県という看板を背負って全国の舞台上で正々堂々と戦ったことは賞賛できることだと思います。

これも地域の皆様の励ましと応援のおかげであり、また大会に際しましては、暖かいご支援、ご援助をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

これからも、部員、指導者、保護者一同団結し、子供たちの心身の育成に努めてまいりますので、ご声援よろしくお願いたします。

土佐町スポーツ少年団 土佐町少年剣道
第28回全国スポーツ少年団剣道交流大会
高知県選手団 監督 高石清賢

高知県選手団

